

国立研究開発法人国立がん研究センター理事会（令和5年度第1回）議事概要
日 時：令和5年4月28日（金）10：30～12：00
場 所：国立がん研究センター 管理棟 第一会議室 ※Webex 使用
出席者：中釜斉理事長、間野博行理事、平沼直人理事、山内英子理事、北川雄光理事、
本田麻由美理事、小野高史監事、近藤浩明監事、島田中央病院長、大津東病院長

理事会冒頭、山内英子理事、平沼直人理事の就任に伴うご挨拶があった。

I. 前回（令和4年度第12回）議事録の確認

- ・ 前回議事録について了承。
- ・ 前回議事録署名人を本田理事と近藤監事に依頼。

II. 報告事項

1. 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」重大な不適合の公表について
資料に沿って報告された。
2. がん対策推進基本計画の変更について
資料に沿って報告された。
【主な意見等】
 - ・ ロジックモデルにおいては指標の設定が重要になると思われるが、特にがん医療、がんとの共生の部分で具体的な指標の設定とモニタリングをどのように行っていくか、中間評価に向け、ご意見をいただきながら進めていきたい。
3. 政府の会議の状況
資料に沿って報告された。
4. 広報実績等
資料に沿って報告された。
【主な意見等】
 - ・ 寄付金の実績に関して、HP で公開しているプロジェクト寄付情報についてがん研究・がん医療のための寄付、プロジェクト寄付、法人の寄付それぞれの金額を明示すべきであると思う。また、患者さんからの寄付にはタイミングを逃さないということが重要であり、例えば入院中の患者さんから寄付の申し出があった際、すぐに職員が直接説明できる体制が整っているのか教えていただきたい。
 - 項目ごとの寄付金額の公開については今後担当者と確認し検討していきたい。患者さんからの寄付申し出の際の対応については病院職員から寄付担当者につなぐ形の連携体制は整っている。
5. 投資委員会報告
資料に沿って報告された。
6. 3月分医業件数等
資料に沿って報告された。

【主な意見等】

- ・東病院においてはコロナ渦中から現在まで感染状況をコントロールしつつ実績を伸ばし続けているのは、大いに評価したい。何か特別な対策をした結果なのか教えていただきたい。
- 麻酔科医の充足、特に泌尿器科において3～4年前比で3倍近くの患者数になっている事、一昨年から整形外科、昨年から皮膚科で本格的に悪性腫瘍の手術を開始している事などの要因が重なり、新患数の増加や手術のマッチングが増加している。
- 全国的にコロナによって患者さんの医療圏を超えた移動が減少したことにより、初診数が減少傾向にあるが、この状況での東病院の躍進は素晴らしいことである。

7. その他

当センターにおける盗撮事案について

【主な意見等】

- ・センターの職員へのフォローとメディア対応については評価に値する。良くないことについての噂は職員の中で尾ひれがついて広まり、動揺を起こすこともある。広報実績報告の中で、職員向け「NCC メディア掲載情報」ページの開設についての報告があったが、「NCC メディア掲載情報」という名称ではこういった不祥事についても掲載する必要が出てくると思われる。名称の変更等も視野に入れて今後の方針を検討いただきたい。
- ご指摘の点について、本事案については既に全職員に共有されている。「NCC メディア掲載情報」ページにおいて名称の変更等も視野に入れて今後検討していきたい。